

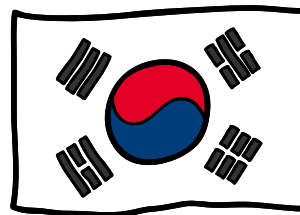
留学先：**中央大学校（韓国）**

留学プログラム： 交換留学（2023年度夏季派遣）

留学期間： 1年間（2023年9月～2024年6月）

学部学科： 交流文化学部 国際交流・観光専攻

学年（留学開始時）： 2年



留学を志したきっかけ

交換留学を目指し始めたのは1年生の頃でした。大学生になったら留学をすることを目標としていたので、愛知淑徳大学に入学してすぐどんな留学制度があるのかを調べていました。元々は、語学堂に通って韓国語を上手になりたいという一心でした。しかし、国際交流センターの方に相談していく中で、今しか経験することができない交換留学を勧めていただいて、交換留学に挑戦することになりました。

留学先で学んだ内容

言語や文化について学びました。日韓が関連している内容が中心で、特に日本人のコミュニケーションの特徴や日韓通訳の授業が多かったです。また、アニメーションを通して日本の歴史や文化について考察する授業が印象に残っています。

現地での生活

普段の生活は、平日に講義を受けて週末は学外の連合サークルの活動をしていました。授業後は、友達とご飯を食べに行くことが多かったです。大学寮には共同キッチンすらも無かったので、外食をよくしていました。連合サークルは日韓交流サークルで様々な活動をしました。ご飯を食べに行くだけでなく、テーマパークやバスケットボール観戦をしに行ったり、MTに参加したりもしました。MTはサークルの仲間たちと親睦を深めるための合宿のことです。日本に興味を持ってくれている韓国人と関わる機会が多くあり、言語面で大きく成長できたと実感しています。また、大学内だけでなくもっと広く交友関係を築けたのは連合サークルのおかげだと思うので、おススメです！

ひとこと

交換留学という選択をして、本当に良かったと思います。言語や文化の学びはもちろんですが、今まで自分の中にあった固定概念であったり価値観が良い意味で崩れて、視野が広がったような気がします。学生の今だから経験することができる交換留学です。もし、留学するか迷っている方がいたら一度挑戦してみてほしいです！

留学先：**中央大学校（韓国）**

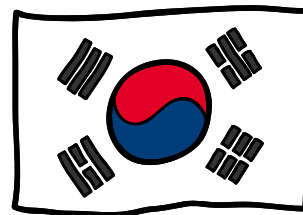
留学プログラム： 交換留学（2023年度夏季派遣）

留学期間： 半年間*（2023年9月～2023年12月）

*1セメスター

学部学科： 交流文化学部 ランゲージ専攻

学年（留学開始時）： 3年



留学を志したきっかけ

一学期間の韓国への留学を決意したきっかけは3つあります。

1つ目は、大学進学を決めた高校生の頃から海外に長期滞在をしてみたいという気持ちが強くあったからです。2つ目は、自身が大学で専攻として学んでいる韓国語を使用して専門的なことを学びたいと思うようになったからです。3つ目は、現地の韓国人大学生たちやその他の外国人留学生など様々な人との交流を持ちたいと考えたからです。

留学先で学んだ内容

- 日本語文学学科で日本文化や日韓の文化比較、その他にも韓国語やハングル正書法、韓国史などについて学習しました。
- 韓国語の授業は上級韓国語コースの他に、韓国語の正書法について学ぶ授業も履修しました。この授業は、交換留学で履修した授業の中で一番興味深く学習することができた授業でした。普段、韓国語の能力を向上させるための授業を多く履修してきましたが、この授業では韓国語の分かち書きやローマ字表記法、文章符号の規則など、「韓国語について」の知識を深めることができ、非常に興味深く学習することができました。
- 韓国史を履修しましたが、外国人を対象に行われる授業だったため、教授も分かりやすいように授業を進行してくださり、比較的簡単に韓国の歴史について学ぶことができました。また、レポート課題の中には韓国にある歴史的な建物を実際に訪問して作成するものもあり、取り組むうちに授業内容についてより深く知識を得ることができました。

現地での生活

学内で行われる交流プログラムなどに参加し、たくさんの学生たちと出会いました。授業がない日には、韓国内でまだ訪れたことのない場所へ旅行へ行ってみたり、好きなアーティストのコンサートに行ったりして充実した留学生活を送ることができました。

ひとこと

交換留学は、現地の学生や他国から来た外国人留学生と一緒に学習することができます。また、学内外で交流する機会がたくさんあり、素敵な交友関係を築き上げることができます。これらは交換留学でしか経験できません。海外に長期滞在してみたい方や、国際交流に興味がある方、外国語を使用して専門的なことを学びたい方へ、ぜひ交換留学をおすすめしたいです。

留学先：**国民大学校（韓国）**

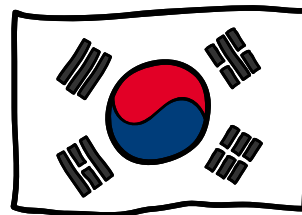
留学プログラム：交換留学（2023年度夏季派遣）

留学期間：半年間*（2023年9月～2023年12月）

*1セメスター

学部学科：グローバル・コミュニケーション学部

学年（留学開始時）：3年



留学を志したきっかけ

コロナ禍もあり大学2年の夏に留学について動き始めました。この時点で冬季派遣の交換留学は締め切っており2023年度夏季派遣の交換留学に挑戦することにしました。交流文化学部は長期セミナー等もあり語学での留学が幅広くあります。しかし、大学での多国籍交流や学部での授業を通した学びをしたいと考え交換留学への挑戦を決めました。

留学先で学んだ内容/授業について

- 韓国語と日本語の授業を履修しました。履修登録は日本で行いました。留学生の子に授業計画表の見方や、授業時間、学部の授業等を教えてもらい事前に気になる授業をピックアップしました。基本1つの授業が週に2回ありました。授業読み替えについては必修選択必修に余裕があったため韓国の授業をメインに選択しました。
- 課題提出もほとんどオンラインで行うので、パソコンを持って行くのがおすすめです。データによってはIPADが使いませんでした。
- 事前に授業の資料がアップロードされるとE-CAMPASという国民大学校のサイトにて閲覧が可能になるので、事前に翻訳機能等を使用し予習を行っていました。
- 韓国で日本のパソコンでは開けないファイルが使われることがたまにあり、文字化けしてしまうことがあるので、そのときは教授に個別に連絡し再度掲載をお願いしていました。

現地での生活

- 大学までは寮から連絡バス(平日)もしくは市バス(祝日や時間以外)を利用し10分から30分程度で行くことができます。連絡バスは朝混雑していることが多いですが、5分毎に有るので次の便で向かうことができます。
- キャンパス内にはカフェや食堂、パン屋さん以外にも勉強スペースとして図書館や飲食自由なスタディールームもありました。校内はWI-FIがどこでも使えるので太陽光を浴びながらピクニックのように校庭の芝生の上で勉強や会話をすることができました。
- 郵便局や銀行もあるので、何か必要な際には校内の支店を利用するのをお勧めします。
- 大学の近くにお店が多く、飲食に関しては困ることは特にありませんでした。近所に飲食店は日曜休みが多かったです。校外の寮のため寮の館内にコンビニや学食はありませんでした。食料品や日用品は大容量で販売していることが多く、2人部屋だったのでルームメイトと日用品を購入し使用しました。

留学先：**国民大学校（韓国）**

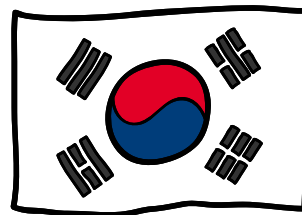
留学プログラム： 交換留学（2023年度夏季派遣）

留学期間： 半年間*（2023年9月～2023年12月）

*1セメスター

学部学科： 交流文化学部 国際交流・観光専攻

学年（留学開始時）： 3年



留学を志したきっかけ

韓国語は専攻ではない言語で、今までにグローバルコミュニケーション学部からの韓国への留学生はいないということだったので、前例がなく少し不安でしたが、高校生のころからの、韓国でメディアの勉強をする目標を叶えるべく、交換留学の試験を受ける決意をしました。

留学先で学んだ内容/授業について

- メディア学部の授業を2つと、韓国語で英語を学ぶ授業を2つ受けました。
- 教授によっては、留学生に対してもわかりやすいように、はっきりとゆっくり話してくださる方もいらっしゃいますが、早口で話される教授もあり、私は取れる授業がかなり限定されてしまう形になってしまいました。
- これから留学に行かれる皆さんには、韓国語を留学前に入念に勉強して、取れる授業の幅を広げて欲しいと思います。グループワークなどで、韓国人の学生と話し合いながら難しい課題をこなすには、韓国語の能力が高くなければ、想像以上についていけないので、韓国語を使うことを意識して勉強してほしいと思います。
- 授業を受けるときは、パソコンは使わず、ルーズリーフにノートを取っていました。授業のPDFは事前にすべて翻訳しながら目を通し、ノートにまとめて、授業を受けている時に、そのノートに付け足す形で授業を受けていました。授業のペースは、韓国人学生に向けたペースと同じなので、私にはとても早く感じました。

現地での生活

- お昼は、学校の食堂で昼食をとっていました。学食は、校内に6つあり、学食によって値段が違いました。私はいつも低価格で食べられる食堂2つを行ったり来たりしていました。校内には学食のほかにも、コンビニやサブウェイ、サラディなどのご飯を買えるお店が沢山あり、カフェもどの棟にもひとつずつありました。
- 試験期間は、スタディーカフェや図書館の勉強スペースを利用して勉強をしました。スタディーカフェは、飲食しながら勉強することができ、自由に使えるパソコンが常備されていました。カフェの中にいるような、音楽も小さな音ですが流れていて、長い間集中して勉強することができました。
- ふりかけは持っていきましたが、インスタントのみそ汁や、お茶をもっていかず韓国で恋しくなり後悔したので、これから留学に行く皆さんには持っていくことをお勧めしたいです。必要なものを買いきる時まで、生活ができるように、最低限の日用品は持っていくことをお勧めします。

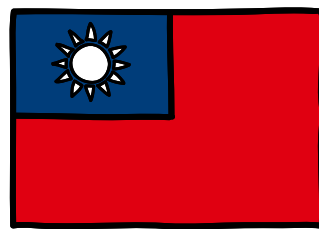
留学先：**静宜大学（台湾）**

留学プログラム： 交換留学（2023年度夏季派遣）

留学期間： 半年間*（2023年9月～2024年1月）

学部学科： 交流文化学部 ランゲージ専攻

学年（留学開始時）： 3年



*1セメスター



留学を志したきっかけ

中国語の学習を進める中で、中国語の発音の難しさと日本語と同じ漢字を使っているという点に親近感を覚え、中国語をもっと話せるようになりたい、聞き取れるようになりたい、文が書けるようになりたいと考えるようになりました。

留学先で学んだ内容/授業について

- 授業は繁体中国語で行われるので、はじめの頃は簡体中国語との発音、漢字の違いに苦労しましたが、授業が進むにつれだんだん慣れていきました。わたしの中国語の先生はゲームを使って単語を学習したりしてくれたので楽しく中国語を学ぶことが出来た上に、インターネットを使って台湾ならではの文化を紹介してくれたり、時には授業内で実際に体験をさせてくれたりしたので、台湾の文化についても学ぶことが出来ました。
- わたしが一番体験出来て嬉しかったのは水墨画です。実際に水墨画の先生が静宜大学に来てくださり、優しく教えてくださったおかげで1から水墨画をしっかりと学ぶ事が出来ました。
- 静宜大学には沢山の留学生向けのイベントがあります。中秋節にはいろんな種類の月餅をもらって食べ比べしたり、クリスマスには学内の境界でイルミネーション点灯式を行ってホットワインを飲んだりしました。
- また台湾人学生と日本人学生の交流会に参加をしていました。交流会ではお互いの国の文化を紹介して実際にその文化を体験したり、テスト期間には一緒に勉強したりしました。月餅作り、餃子作り、ドリンクホルダー作りなどといった文化体験、ピクニック、勉強会、プチパーティー...沢山のイベントを通してわたしは沢山の台湾人の学生とお友達になる事が出来ました。時には日本に興味がある、日本語を学びたいと思っている台中の高校生と交流し、日本語を教えてあげたり、浴衣を着させてあげたりというようなボランティア活動もしました。

現地での生活

- 台湾はバスや電車が通っていて沢山の人が利用します。静宜大学は大学内、門の前両方にバス停があるので簡単に外に出かけることが出来ます。
- 台湾ではバイクの2人乗りも認められているため、台湾人の友達の後ろに乗らせてもらうこともありましたが、スピードを結構出すので少し怖かったです。
- 台湾の食事が本当に大好きでした。台湾は外食文化なので、大学内の食堂や外のお店でイートインするかテイクアウトすることが多かったのです。学外にも沢山のお店があり、餃子、洋食料理、日本料理...のなどなど何を食べようか迷ってしまいます。
- 食べ物以外には沢山のドリンク屋さんがあり、甘さやトッピングなどをカスタムできます。値段も非常に安く、沢山のお店があるので、飲み比べしてみてください！
- そして台湾といったら有名なのは夜市です。静宜大学の隣には静宜夜市があります。おすすめは地瓜球と揚げた臭豆腐です！

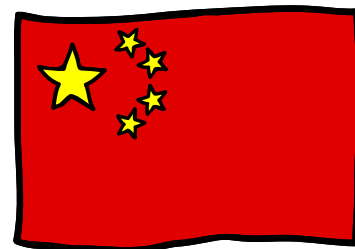
留学先：**北京語言大学（中国）**

留学プログラム： 交換留学（2023年度夏季派遣）

留学期間： 半年間*（2023年9月～2024年1月）

学部学科： 交流文化学部 ランゲージ専攻

学年（留学開始時）： 3年



*1セメスター



留学を志したきっかけ

大学1年次の後期に参加したオンライン長期海外セミナーです。オンライン留学当初、中国語の簡単な単語しか分らなかったのですが、授業がとても分かりやすく、留学終了後には自身の語学力向上を実感できました。そして国際色豊かな学校の特色に惹かれ、もう一度北京語言大学の授業を現地で受けたいと思いました。

留学先で学んだ内容/授業について

- オンラインで半年間学んでいたこともあり、大丈夫だろうと少し自信がありましたが、いざ授業が始まるとクラスメートの会話力の高さに驚かされる毎日でした。私は中級レベルのクラスにいましたが、コミュニケーションをとるのに問題なく流暢に話せる人ばかりでした。危機感を感じ、「会話力を伸ばし流暢に話すこと」を今回の留学の目標にしました。
- 中級中国語（下）は中級クラスの必修授業で、クラスメートと仲を一番深めやすかったです。多種多様な話題についての文章を読み、理解するとともにそれに紐づいた新出単語や文法も学ぶといった内容でした。グループになって話し合う機会が多くあり、授業を聞くだけでなく話す、書くといったすべての力をつけることができました。
- 視聞話(上)は選択授業の一つで、主に中国の番組を見て聞き取った内容を文字に起こし、番組テーマについて自分の考えを話すといった内容でした。一人ひとり前に出て一分間で意見を簡潔に話す時間や先生が生徒に質問しながら授業を進める形で、会話力が鍛えられました。また、月に1度大きな課題があり個人で一日のVLOGを作成したり、中国の伝統的な文化をグループごとで紹介したりしました。
- 中国語の授業のほかにも書道や芸術、太極拳など中国文化に触れることのできる授業があります。私は、中国画や藍染めなどの中国芸術を幅広く学ぶことのできる授業に参加していました。専門の先生が教えてくださり、毎時間一つの作品を作りました。

現地での生活

- 半年間と短い期間でしたが、数多くの国の方と交流することができました。授業外にも、週末に北京動物園や万里の長城などの観光スポットに行ったほかに、ロシアの友達が寮に招待してくれ、お茶を飲みながらお互いの国の文化や習慣を紹介し、異文化理解を深めることもできました。北京語言大学の良さは、沢山ありますがその一つに中国語をお互いの共通言語として使用し、様々な国の価値観や考え方を吸収できることがあると思います。
- 私にとって、交換留学をした4か月間は語学勉強のほかにも自立心を鍛えることができました。当初、設定した目標である会話力をつけることもできたと感じます。また、小さな国連と呼ばれる北京語言大学で出会えた様々な国の友達との出会いは私の人生の中で、なにものにも代えがたい財産になりました。

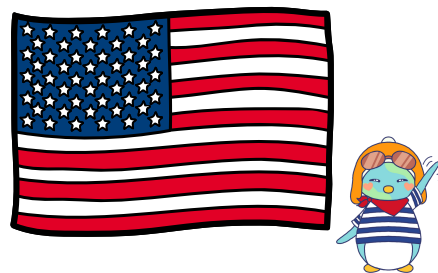
留学先：The University of Tennessee at Martin
(アメリカ)

留学プログラム： 交換留学（2023年度夏季派遣）

留学期間： 1年間（2023年8月～2024年5月）

学部学科： 交流文化学部 国際交流・観光専攻

学年（留学開始時）： 3年



留学を志したきっかけ

私は、大学入学前から、在学中に必ず留学することを目標としていました。入学後、様々な留学制度があることを知っていくうちに、現地の大学生として、自分が専攻している内容を英語で学ぶことができる交換留学に魅力を感じ、交換留学生になることを目指し始めました。

留学先で学んだ内容/授業について

- 多くの種類の専攻があり、授業の種類も多様でした。留学生は基本的に好きな授業を選択することができたので、日本の大学で専攻していたもの以外にも、アメリカの大学生が要求されるレベルのライティングやリーディングなど、基礎的な授業もいくつか履修しました。
- アメリカの大学生活で最も驚いた日本との違いは宿題の量です。1年生向けとされる授業でも、何度もエッセイを書いたり、テストを受けたりしなければいけなかったもので、常に授業の予習復習に加え、テスト勉強やエッセイ課題に取り組まなければいけませんでした。
- 授業や宿題に対して不安や疑問があるときは、すぐに担当の教授のオフィスを訪れて直接相談し、各授業に一人は友人をつくりました。続けていくと、英語にも慣れていくのと同時に、どのくらい勉強すれば、現地の学生と同じように授業を受け、良い成績をとることができるのか分かるようになりました。その結果、前期終了後、すべての授業でAを取得した人が受賞する、成績優秀者として名前を呼んでもらうことができました。

現地での生活

- 課外活動として、マーチングバンド部にも所属しました。そこでは、これまで日本で所属してきた部活動とは全く異なる練習の雰囲気や、指導者とのかわり方を実感し、文化の違いを目の当たりにしました。部活中は居心地の悪さを感じることもありましたが、部員や先生とのコミュニケーションを通して、相手についての知識を深めたり、違いに適応したりしようと努力したりしました。そして徐々に私の中にあったストレスがなくなりました。
- また、優しく個性あふれる友人を多く作ることができたと思います。留学してすぐにできた友達もいましたが、もっといろいろな人と関わってみたいと感じ、日本語クラブやマーチングバンド部に所属しました。主体的に行動することで、実は日本に興味を持ってくれていた学生と仲良くなることができました。

ひとこと

約9か月間の留学を通して、英語力だけでなく人間力も鍛えることができたと思います。日本とは全く価値観や文化が異なるため、嫌な思いをすることもありましたが、経験を重ねるうちに、人の考えは個人のものとして考える力が徐々につき、どのような人とも楽しく交流ができるようになりました。現地の大学生として、対等な扱いを受け、多くの仲間の助けを借りて様々なことを乗り越えた過程の中に、この学びがあったのだと思います。

留学先：York St John University (イギリス)

留学プログラム： 交換留学 (2023年度夏季派遣)

留学期間： 1年間 (2023年8月～2024年6月)

学部学科： グローバル・コミュニケーション学部

学年 (留学開始時)： 3年



留学を志したきっかけ

将来MLB (メジャーリーグベースボール) で働くことが夢だからです。海外で就職するためには英語力が必要不可欠です。そのため、交換留学を通じて英語力を向上させたいと思っていました。イギリスを選んだ理由は、アメリカ以外の文化に触れたかったからです。ヨーロッパではスポーツビジネスが盛んであり、野球以外にも多くのことが学べると考えました。

留学先で学んだ内容/授業について

- 私は学期が始まる前に、事前授業に参加しました。主にレポートの書き方を勉強しました。イギリスでは特に参考文献・引用に注意しなければいけません。その方法を事前学習で学ぶことができたので、学期が始まってスムーズにレポートに取り組むことができました。
- 留学先では前期・後期3科目ずつ受講しました。イギリスの授業では1科目につき授業とセミナーがあります。授業によりますが、講義は90分、セミナーは120分が多かったです。
- 授業は大規模なクラスで教授が講義をします。セミナーでは少人数クラスに割り振られ、講義の内容をより深く理解するためにディスカッションを中心にアウトプットします。基本宿題はありませんが、リーディング課題があります。1学期3科目のみなので少なく感じるかもしれませんが、リーディング課題がとても多いので一週間がとても短く感じます。
- 学内には課題をサポートしてくれるスタッフもいるので、周りに頼りながら課題をやり切ることができました。

現地での生活

- 普段、平日は授業、週末は部活動でした。大学にはたくさんの部活動とサークルがあり、留学生でも参加することができます。友達作りは授業よりもサークルや部活動の方がお勧めです。私は高校まで野球をしていたので、野球部に参加しました。
- 留学先では大学の寮で生活していました。私のフラットは3人現地学生、1人がスペインからの留学生でした。イギリスでもネット通販が利用できたり、大学周辺は栄えているので、買い出しはとても便利でした。
- イギリスの大学は長期休みが長いため、その間に国内やヨーロッパ周遊をしていました。留学中に、フランス、オランダ、ギリシャ、イタリア、オーストリアを旅行しました (特にイタリアは最高でした!)。ヨーロッパの魅力は飛行機や電車が比較的安価なので、気軽に旅行することができました。

ひとこと

留学は挑戦の連続ですが必ず成長することができます! 悩んでいる方はぜひ一歩踏み出してください! 応援しています!

留学先：York St John University (イギリス)

留学プログラム： 交換留学 (2023年度夏季派遣)

留学期間： 1年間 (2023年8月～2024年6月)

学部学科： グローバル・コミュニケーション学部

学年 (留学開始時)： 3年



留学を志したきっかけ

大学に入学した当初は、交換留学を真剣には考えていませんでした。本格的に交換留学を目指すようになったのは、学部二年次に行ったSTUDY ABROADで、海外で、違う環境で学ぶことに魅力を感じたことがきっかけです。海外で語学を学ぶことよりも、英語を使って興味のある分野について学ぶことで新たな視点を得ることができると思い、交換留学を志しました。

留学先で学んだ内容/授業について

- 到着した二日後には英語のプログラムが始まりました。十分ではなかったIELTSの結果から受けることになったプログラムでしたが、交換留学が終わってみて、このプログラムで学んだことがとても活きているなと感じました。このプログラムは英語の勉強に加えて、正しい文章、エッセイの書き方、プレゼンテーションの行い方、セミナーと呼ばれる参加型授業でのあるべき出席の姿勢などを学び、交換留学の準備期間としてとてもいい時間を過ごすことができました。
- 学期開始後は主に文学や言語学について学びました。LANGUAGE AND LINGUISTICという学科があり、社会言語学や心理言語学など様々な授業が用意されていました。
- 履修登録を柔軟に行うことができ、他の学科の授業を履修することができるため、興味を持っていたビジネスの分野や、文学の授業を履修することができ、充実した留学生活を送ることができました。

現地での生活

- JAPANESE SOCIETYというサークル活動と、日本語の授業のボランティアに参加しました。他の日本からきた交換留学生や日本に興味を持っている、または日本語を勉強している現地の学生と交流ができてとても楽しかったです。
- 休暇には国内旅行やヨーロッパの国に旅行することもできました。

ひとこと

交換留学を経験して心からよかったと思っています！日本では得ることができなかった新たな視点を学べることや、一生に一度の思い出がたくさん作ることができるのでこれからの大きな財産になると思います。興味を持っている人はぜひ挑戦して欲しいです！